

優良要件適合申告書 （監理団体）

技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律施行規則第31条に定める基準を満たすことについて申告します。

記

項目	点数	内容
1 団体監理型技能実習の実施状況の監査その他の業務を行う体制	I	点 マニュアル等の策定及び監査担当職員への周知（有・無）
	II	点 実習監理を行う実習実施者_____実習実施者÷監理事業に関与する常勤の役職員_____名 = _____（小数点第2位以下切捨て）
	III	点 監理団体の職員（監理責任者を除く、監査担当者）の講習受講割合 講習受講者_____名÷職員_____名×100= _____% ※講習受講者がいる場合には、講習受講者名簿（別紙1）を添付すること。
	IV	点 ① 技能実習責任者、技能実習指導員、生活指導員等に対し、毎年、研修の実施、マニュアルの配布などの支援を行っていること（有・無） ② ①の支援の概要
	V	点 帰国後の技能実習生のフォローアップ調査への協力の意志の有無（有・無）
	VI	点 技能実習生のあっせんに関し、監理団体の役職員が送出国で行っている事前面接の概要

	VII	<p>帰国後の技能実習生に関し、送出機関と提携して行っている就職先の把握の概要</p> <p>点</p>
2 技能等の修得等に係る実績	I	<p>※</p> <p>① 分母 計 _____ 名 (A + B)</p> <p>A 現行制度 第1号修了者 _____ 名 - やむを得ない不受検者 _____ 名 = _____ 名</p> <p>B 旧制度 第1号修了者 _____ 名 - やむを得ない不受検者 _____ 名 = _____ 名</p> <p>※やむを得ない不受検者がある場合には、A及びBそれぞれについて、やむを得ない不受検者名簿(別紙3)を添付すること。</p> <hr/> <p>② 分子 計 _____ 名 (A + B)</p> <p>A 現行制度 計 _____ 名 (受検技能実習生名簿(別紙2)を添付すること)</p> <p>B 旧制度 計 _____ 名 (受検技能実習生名簿(別紙2)を添付すること)</p> <hr/> <p>③ 基礎級程度の学科試験及び実技試験の合格率</p> <p>② _____ 名 ÷ ① _____ 名 × 100 = _____ %</p> <p>※合格率の小数点以下は切り捨てること。</p> <p>点</p>
	II	<p>※</p> <p>① 分母 計 _____ 名 (A + B)</p> <p>A 第2号修了者 計 _____ 名 (a + b)</p> <p>a 現行制度 第2号修了者 _____ 名 - やむを得ない不受検者 _____ 名 = _____ 名</p> <p>b 旧制度 第2号受検者 _____ 名</p> <p>※旧制度について、平成29年7月1日以前の受検者はその全てを含めないことが可能であるが、同日以後の受検実績は必ず含めること。</p> <p>B 第3号修了者数 _____ 名 - やむを得ない不受検者 _____ 名 = _____ 名</p> <p>※やむを得ない不受検者がある場合には、A及びBそれぞれについて、やむを得ない不受検者名簿(別紙3)を添付すること。</p> <hr/> <p>② 分子 計 _____ 名 (A + B)</p> <p>A 3級程度 _____ 名 (a + b)</p> <p>a 現行制度 計 _____ 名 (受検技能実習生名簿(別紙2)を添付すること)</p> <p>b 旧制度 計 _____ 名 (受検技能実習生名簿(別紙2)を添付すること)</p> <p>B 2級程度 _____ 名 (受検技能実習生名簿(別紙2)を添付すること)</p>

		<p>③ 2級又は3級程度の合格率</p> <p>(②A+②B×1.5=_____名) ×1.2 ÷ ①_____名 × 100 = _____%</p> <p>※合格率の小数点以下は切り捨てること。</p>
	III 点	<p>① 2級又は3級程度の学科試験の合格者 計_____名</p> <p>※受検技能実習生名簿(別紙2)を添付すること。</p> <p>② 合格者を輩出した実習実施者 計_____実習実施者</p>
	IV 点	<p>技能検定等の実施への協力の実績を有する傘下の実習実施者</p> <p>計_____実習実施者</p>
3 法令違反・問題の発生状況	I 点	<p>※</p> <p>① 改善命令 (無 ・ 有)</p> <p>※有の場合 (年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 / 改善実施 ・ 改善未実施)</p> <p>② 旧制度の「改善命令相当の行政指導」(無 ・ 有)</p> <p>※有の場合 (年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 / 改善実施 ・ 改善未実施)</p>
	II 点	<p>※</p> <p>失踪者_____名 ÷ 受入れ_____名 ×100= _____%</p> <p>※受入れ数は、過去3年以内において新たに受入れを開始した技能実習生の総数。</p>
	III 点	<p>※</p> <p>責めによるべき失踪 (無 ・ 有)</p>
	IV 点	<p>※</p> <p>① 実習認定の取消しの割合</p> <p>実習認定の取消し_____機関 ÷ 対象事業年度内に実習監理を行った実習実施者 _____機関 × 100</p> <p>= _____% (小数点第2位以下切捨て)</p> <p>(実習認定の取消しのうち、監理団体が不正を発見して機構に報告した_____件を除く)</p> <p>② 改善命令_____件(機関数) ÷ 対象事業年度内に実習監理を行った実習実施者 _____機関 × 100</p> <p>= _____% (小数点第2位以下切捨て)</p> <p>(改善命令のうち、監理団体が不正を発見して機構に報告した_____件を除く)</p>

	III	点	日本の文化を学ぶ機会をアレンジしている実習実施者への支援の概要
--	-----	---	---------------------------------

(注意)

- 1 点数欄に※印が付された項目については、申告の有無にかかわらず、内容欄を記載すること。
- 2 点数欄は、申告の有無にかかわらず記載し、申告しない項目には、点数表を参照して「0点」、「-5点」等と記載すること。
- 3 「4相談・支援体制」の項目の「II」に関する資料として、ポータルサイトに登録した実習実施者の登録画面を印刷して添付すること。
- 4 旧加点表と新加点表のいずれを適用するか、下記※に記載のいずれかを選択すること。

合計点
点

※ 加点表の適用希望 (旧 (72/120) ・ 新 (90/150))

以上の記載内容は事実と相違ありません。

年 月 日作成

申請者の氏名又は名称

作成責任者 役職・氏名

講習受講者名簿

番号	氏名	性別	生年月日	役職	講習名	受講日
		男・女	年 月 日	・ 監査担当職員 ()		年 月 日
		男・女	年 月 日	・ 監査担当職員 ()		年 月 日
		男・女	年 月 日	・ 監査担当職員 ()		年 月 日
		男・女	年 月 日	・ 監査担当職員 ()		年 月 日
		男・女	年 月 日	・ 監査担当職員 ()		年 月 日
		男・女	年 月 日	・ 監査担当職員 ()		年 月 日
		男・女	年 月 日	・ 監査担当職員 ()		年 月 日
		男・女	年 月 日	・ 監査担当職員 ()		年 月 日
		男・女	年 月 日	・ 監査担当職員 ()		年 月 日
		男・女	年 月 日	・ 監査担当職員 ()		年 月 日

(注意)

- 1 役職欄には、監査担当職員に丸印を付け、申請者の内部での役職を括弧内に具体的に記載すること。
- 2 講習の受講証明書の写しを添付すること。

受 検 技 能 実 習 生 名 簿

(技能検定等 級 / 現行制度受検者・旧制度受検者)

番号	氏名	性別	国籍 (国又は地域)	生年月日	試験名 (職種・作業を含む)	合格日	合否区分	合格時の実習実施者	修了年月日
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格 (全部・学科・実技)・不合格		
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格 (全部・学科・実技)・不合格		
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格 (全部・学科・実技)・不合格		
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格 (全部・学科・実技)・不合格		
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格 (全部・学科・実技)・不合格		
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格 (全部・学科・実技)・不合格		
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格 (全部・学科・実技)・不合格		
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格 (全部・学科・実技)・不合格		
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格 (全部・学科・実技)・不合格		
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格 (全部・学科・実技)・不合格		
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格 (全部・学科・実技)・不合格		
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格 (全部・学科・実技)・不合格		
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格 (全部・学科・実技)・不合格		

(注意)

- 1 本名簿は、受検級ごとに、それぞれ現行制度と旧制度の受検者に分けて作成すること。
- 2 合格区分には、いずれか一つに丸印を付すこと。
- 3 技能検定等の合格時に監理団体が受け入れて実習監理していた技能実習生のみが記載対象となることに留意すること。

やむを得ない不受検者名簿

(第 号修了者 / 現行制度受検者・旧制度受検者)

番号	氏名	性別	国籍(国又は地域)	生年月日	技能実習実施困難時届出日	技能実習計画認定番号	所属実習実施者
		男・女		年 月 日	年 月 日		
		男・女		年 月 日	年 月 日		
		男・女		年 月 日	年 月 日		
		男・女		年 月 日	年 月 日		
		男・女		年 月 日	年 月 日		
		男・女		年 月 日	年 月 日		
		男・女		年 月 日	年 月 日		
		男・女		年 月 日	年 月 日		
		男・女		年 月 日	年 月 日		
		男・女		年 月 日	年 月 日		
		男・女		年 月 日	年 月 日		
		男・女		年 月 日	年 月 日		

(注意)

- 1 本名簿は、技能実習の段階ごとに現行制度と旧制度に分けてそれぞれ作成すること。
- 2 本名簿に記載できる技能実習生は、病気や怪我、実習意欲の喪失やホームシック、行方不明、本国の家族の都合、実習認定の取消し、実習実施者の経営上や事業上の理由などの監理団体の責めによらない理由により、技能実習を行うことが困難となり、不受検となった者である。

